

令和7年度

地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

中間支援ギャザリング資料（中間支援振り返りシート）

活動テーマ

『西川町の日常を物語にするツーリズムの構築』

活動団体の活動地域：山形県西川町

活動団体名：ツキノワ合同会社

中間支援主体名：西川町地域資源活用イノベーション推進協議会

# 中間支援主体としての獲得目標と達成状況

## ■ 中間支援主体としての獲得目標 【R7年度当初目標】

- ・ 中間支援を担う人材の充実  
本協議会の若いメンバーが、中間支援を理解し、身につけることで、将来的に幅広く中間支援ができる体制を目指す。
- ・ “一歩下がって二歩前を照らす”  
昨年度までは、受動的なアドバイスが主となっていたことから、二歩前を照らすような先を見越した助言などができるようになることを目指します。

## ■ 中間支援主体としての獲得目標に対する振り返り（目標達成状況）

- ・ 活動主体のスピードについていけない、課題や次の助言を考えているうちに進んでいってしまったこともあったため、経験を積み、素早く課題の整理や先を見越した助言を行えるようになっていく必要があると感じました。
- ・ 前半は、資源（情報・人）をつなぐ支援がメインでした。
- ・ 後半、壁打ちなどで今後発生する動きやそれに対する支援を球出しし、状況に合わせて助言できるように努めました。
- ・ 助言（予見していない足部分への対応、視野を広げるための意見など）が的を得たモノだったか、まだまだ自信が持てないところも多い。現状や課題を整理する能力を伸ばし、より適した助言ができるようにしていくべきと感じるようになりました。

# 中間支援機能ごとの振り返り

チェンジエージェント機能		R7獲得目標（R7年度当初設定） 高めたい機能（◎/○）とその理由		現状の自己評価（R7年度末時点） 自己評価（◎/○/▲）とその理由	
変革促進	物事を整理する				
	意味づける				
	癒しとなる				
	見通しをつける				
プロセス支援	話を聞く				
	場を開く				
	喝を入れる				
	現在地を確認する	◎	受動的な中間支援が主であったため、先を見据えた助言ができる機能を獲得したい。	○	壁打ちなどにより、以前よりは先を見据え助言することができた。経験不足の面もあるため、課題整理能力を伸ばしていきたい。
資源連結	新しい人を入れる				
	事例を紹介する				
	引き出す				
	拡散する				
問題解決提示	文字や図に落とす				
	問いを立てる				
	会議を進行する				
	落としどころを探る				
その他	人材育成	◎	地域循環共生圏を理解し、幅広く中間支援できる体制を作るため、若手を育成する。	◎	今年度の活動を通して、事業への理解は深まったが、理解不足なところもあるため、引き続き経験を積んでいきたい。

# 今後の中間支援主体のありたい姿

## ■ 中間支援主体としての本事業終了後の地域づくりへの貢献 【R7年度当初目標】

- ・本事業において向上・獲得した中間支援機能を活かして、地域で活動したい団体が気軽に事業を始められる雰囲気、支援体制を作るとともに、それら事業で構築したプラットフォームをつなぐ役割を担っていく。
- ・また、様々な活動団体を地域内外でつなげることで、地域の課題が地域のステークホルダー自らで解決していくようなイノベーションが次々と起こる土壌を作り、持続可能なまちづくりに貢献していく。

## ■ 地域づくりに貢献していくために、今後、どうなりたいか

目指す姿	目標達成に向けた、次年度の行動	チェンジエージェント機能での分類
・受動的な助言にとどまらず、将来を見据えた適切な助言で活動主体の成長を支えていく中間支援組織。	活動団体の現状や課題を壁打ちなどを通して引き出して整理し、そこから将来を見据えた適切な助言を考えられるよう、経験を積んでいく。	・変革促進 （物事を整理する） ・プロセス支援 （現在地を確認する）
・地域の構造や関係性を整理し、成果や学びをわかりやすくまとめ、活動主体が次の一歩を踏み出しやすくしていく中間支援組織	・対話会や活動内容を整理し要点の可視化に取り組むとともに、地域構造や関係性の理解を深め、助言の質向上に向けた経験と知識を積み重ねていく。	・問題解決提示 （文字や図に落とす）

## ■ 地域づくりに貢献していくために、外部地域や関係者と連携や協力したいこと

- ・役場内を含め、地域循環共生圏の考え方が少しずつ浸透していくように活動を発信していく。